

エアースグリスガン 取扱説明書

LINCOLN

○ 安全のために

梱包を開けて製品を使用する前に、取扱説明書を良くお読みください。取扱説明書をよくご理解いただいた方が操作、メンテナンスを行ってください。この取扱説明書は必ず保管してください。

! 警告

極端な圧力をエアースに加えるとホースが跳ねます。適正なホースを使用し、ホースの取扱説明に従って正しく使用してください。

! 警告

当製品(グリスガン)は41.3MPaまでの圧力を発生させるように設計されています。作業中は必ず保護メガネと手袋を着用してください。ホースのラバー部分には手を触れない様に注意してください。

グリスガンは高い圧力をグリスにかけます。もし、本体に緩みや裂け目があるとグリスガンの操作中に中身が吹き出し、身体にグリスが吹付けられ重大な人身事故につながる可能性がありますので特に注意を払う必要があります。

グリスの跳ねから皮膚や目を守るため適正な保護具を装着することをお勧めします。

! 警告

グリス等の液体が皮膚に当たった時は直ちに応急手当を施してください。簡単なキズ口として扱わずに専門医に触れた液体を正確に報告してください。

○ 安全のために

1. 常に保護メガネを着用してください。当製品は41.3MPaまでの圧力を発生させる設計になっています。
2. リンカーン社が推奨するP/N 1218, 1224, 1230, 1236等の出力ホースのみ使用してください。グリスが皮膚等に当たると重大な人身事故になります。ホースはスプリングで保護されている所だけを持ってください。
3. 不意に工具が始動することは避けてください。エアースをエアラインに接続する前にトリガーが不用意に押されていないことを確認してください。
4. エアースは小さい半径に丸めて使用しないでください。
5. ホースの外装にヒビや損傷がある時は、そのまま使用せず交換してください。

○ 説明

当製品は空気圧で操作するオートマチックユニットです。当製品はベアリングやフィッティング、注油ラインのグリスポイントに手動注入するように設計されています。

ガンはプランジャー(13)が前進する間に注油する、シングルアクションポンプです。

ガンはトリガー(18)を押している時に作動します。圧力エアがA室(図1)に入ると、プランジャー(13)の付いたピストン(7)が左に押し出されます。ベンチバルブBはとじています。

プランジャー(13)により圧力のかかったグリスはチェックバルブ(3)を押し開けて注油を1回します。

ピストン(7)がCのバイパス溝にとどくと(図2)圧力空気はD室に入り、ベンチバルブBを開けます。A室の圧力エアはバルブBからE穴を通してF室に入りG穴から外に排出されます。圧力エアはピストン(7)の両サイドで均等になりスプリング(12)の力で初期の位置に戻り、ガンが再充填され(図1)ます。ベンチバルブBが締まり、D室圧力エアがバイパス溝Cで排気されます。トリガーを押している間、このサイクルが繰り返されます。

○ 操作

- ・最初にタンクにグリスを充填するか、カートリッジを交換してからエアーガンを取付けてください。
- ・ガンを使用する前に、グリスポイントにガンの先端をつないでください。
ご注意：製品を長持ちさせるために
もし、ガンの作動が遅くなった時は、ハンドル底部のエアー吸入口からエアーツール用オイル (SAE30以上)を滴下してください。

! 注意

カートリッジタンク内のグリスに空気溜り(エアーホケット)があるとガンがタンクにうまく取付けられません。

- ・タンクをガンに取付けるために、ホースからグリスが出るまでガンを操作してください。ハンチバルブ(18)(図6)を使ってエアーホケットを排除します。ガンを10~15秒操作してもうまくいかない時はエクステンションホースや固い連結部を外してグリスが出口から排出されるまでガンを操作してください。
- ガンで連続して注油する前に上記のことを行ってください。

○ 空のグリスカートリッジを外す。

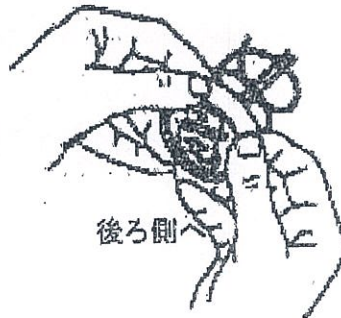
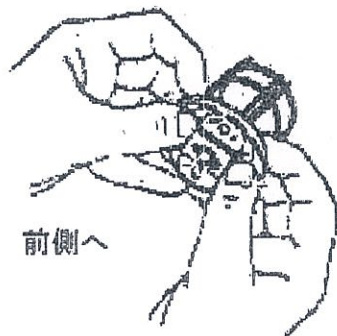
1. タンク内のロッドを引き出すためにタンク後部にあるハンドルをいっぱいに引きます。引いたロッドはチューブキャップの溝にかけて止めてください。
2. ガンからグリスタンクを外します。(ねじ込み式)
3. タンク内から空のカートリッジを押し出すため、ゆっくりと、注意してハンドルを溝から外して戻します。

○ グリスカートリッジの装填

1. 新しいカートリッジを装填する前にシールリップを目視点検します。シールリップはハンドルの方向を向いているか、カートリッジを装填する後側に向けます。
シールの方向を変える時はグリスチューブ組品からチューブキャップを外し、チューブからシールを離すためにハンドルを引き出します。シールを返して再び組み立ててください。
2. タンク内のロッドを引き出すためにタンク後部にあるハンドルをいっぱいに引きます。引いたロッドはチューブキャップの溝にかけて止めてください。
3. グリスカートリッジからプラスチックキャップを取り、タンクにカートリッジを差し込みます。
4. グリスカートリッジからタブを引いて外しタンクをガンにねじ込んで取付けます。
5. 溝からロッドを外してください。タンクからエアーを排出してください。(エアーホケット排出参照)

○ グリス缶から充填する前に、フォロワーの方向を変えます。

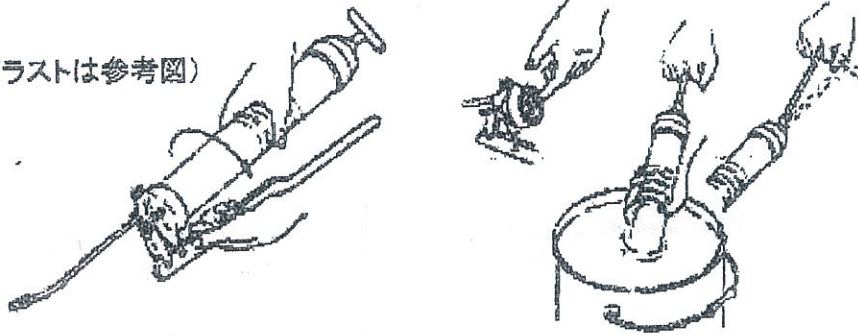
1. グリスタンクからタンクキャップを外します。ハンドルをいっぱい引いてタンクからフォロワー(押し出し部)とスプリングを出します。
2. 親指と人差し指でフォロワーをつまんで後側から前側へひっくり返します。
フォロワーはキャップのようなものです。グリス缶からタンクに給油する時、キャップは、ヘッド組品の方向に向くようにします。
3. タンクの中にフォロワーとハンドルを戻しタンクキャップをしっかりと締めます。



○ グリス缶からタンクにグリスを入れる方法

1. グリスタンクからエアガンを外します。
2. ガンのヘッドにある穴とプランジャー組品にグリスを塗ります。
3. グリス缶にタンクの開いている方をグリスに差し込みます。タンクにグリスを引き込む時にエアポケットができない様にグリスの中にタンクを深く差し入れながら、ハンドルをゆっくり引きます。
4. ロッドを十分に引き上げたらタンクキャップのキー溝にロッドをかけてください。
5. グリスの詰まったタンクとガンを緩くつなぎあわせませす。キャップからロッドを外しタンクにゆっくり差し込みます。接続部からグリスがにじみ出るまでタンクとガンのネジ部をゆっくり緩めます。それから再びタンクとガンをしっかり締め込んで組み立ててください。

(イラストは参考図)



○ トラブルシュート

症状	原因	対応
ガンが操作できない。	圧縮エアが吸入されていない。	エアラインに接続
	ピストン(7)が詰まっている。	ガンを分解し、損傷を点検。 必要に応じて交換。
	空気圧が低すぎる。	供給エア圧力を点検 0.28MPa以上必要です。
	リターンスプリング(12)が破損。	必要に応じて交換。
ガンがオートマチックで操作できない。	空気圧が低すぎる。	供給エア圧力を点検 0.28MPa以上必要です。
	ピストン(7)が詰まっている。	エアラインから本体を離し、スプリングがピストンを押し戻すまで置いておく。もし、操作できない時はガンを分解し、損傷を点検する。必要に応じてピストンを交換する。
ガンは作動するがグリスを出さない。	準備がよくない。	手順を踏んでください。
	タンク内にグリスがない。	タンク内にグリスがあるか確認してください。
	10~15秒後の操作でうまくいかない。	エクステンションホースや固い連結部を外してグリスが出口から排出されるまでガンを操作してください。
その他動作不良	タンクにグリスを詰めた時にエアトラップが数箇所できている。	タンクを空にして、グリスを詰め直し最初から行ってください。
	フォローリップ(11)の位置が悪い。	タンクのフォローの章を参照。
	ボールチェックバルブ(3)の不具合	チェックバルブを分解し、ボールを取り、きれいにしボールシート部分を点検する。

**AUTOMATIC AIR GREASE GUN
MODEL 1162**

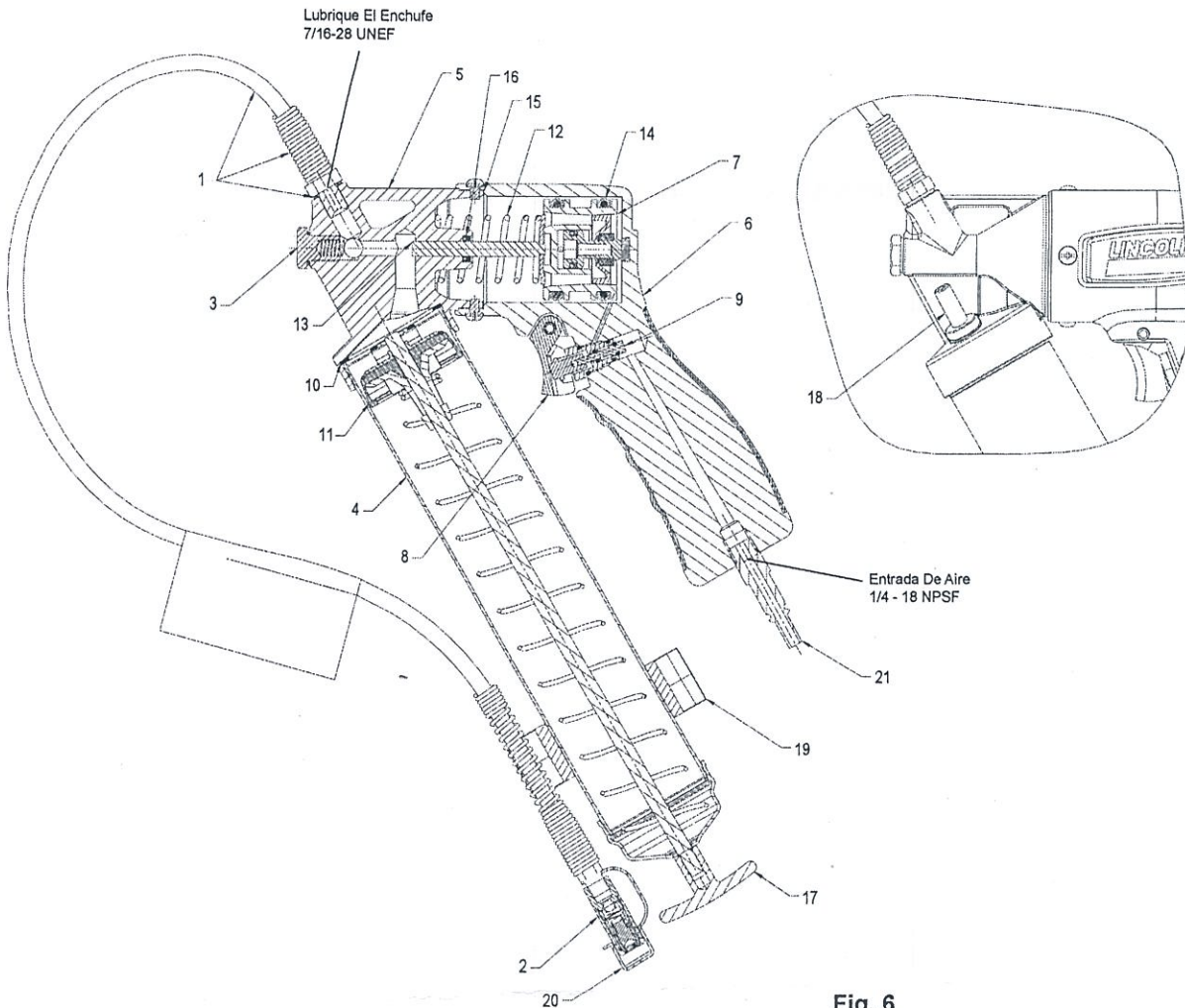


Fig. 6

NOTA: La ilustración muestra el labio de sellado del seguidor colocado para usar con un cartucho.